

※先生方への回覧と地域学校協働活動推進員さんへの手渡しをお願いします。



人を育て 地域を創る

文責：玉名市教育委員会

玉名市地域学校協働本部
事業だより第69号
令和5年5月8日

◆一年先を見る者は花を植え◆十年先を見る者は木を植え
◆百年先を見る者だけが人をつくる

(中国の故事から派生した言葉)

令和5年度も1ヶ月が過ぎました。地域は、桜や藤の花から菖蒲やツツジ、バラ等の花に移り変わっています。学校も年度初めの多くの行事が終わり、一段落という所ではないでしょうか。黄色い帽子をかぶったかわいい1年生も、やっと学校に慣れたところだと思います。1年間安心安全な環境で、いろんな学習や活動にチャレンジして欲しいと思います。

この「人を育て、地域を創る」では、玉名市内で行われている地域学校協働活動について情報を発信していきます。今後、冒頭の言葉にあるように、将来の日本や玉名を活性化し得る人材を、学校、家庭、地域、子供、行政の五者が連携して育てていきたいと思います。



令和5年度がスタートします!!

よろしくお願いします!!

4月21日(金)、令和5年度玉名市地域学校協働活動推進員委嘱状交付式



【教育長挨拶より抜粋】

学校と地域が力を合わせ学校運営に取り組む「コミュニティ・スクール」と、学校を核とした地域づくりを目指す「地域学校協働活動推進事業」の一体的な推進により、未来を担う子供たちの成長を地域・社会総がかりで支えていきたいと考えています。そのためには、地域と学校との緊密な連携・協働が重要であり、その中でもキーパーソンとなる推進員の皆様や、学校のご協力が・・・

4月21日(金)は令和5年度の「地域学校協働活動推進員委嘱状交付式」を行いました。

委嘱状交付式では、教育長から、参加者に委嘱状が渡された後、『「コミュニティ・スクール」と「地域学校協働活動」の一体的な推進により、未来を担う子供たちを地域総がかりで支えていきたい』という強い思いが伝えられました。



【委嘱状交付】



【アイスブレイク】



【意見交換】

「コミュニティ・スクール」と
「地域学校協働活動」の
一体的推進を進めましょう!!



裏面あり

委嘱状交付式の中で確認した「今後の方向性」

- 1 地域行事への参加、地域教材開発等
- 2 ボランティアバンクの充実
- 3 コロナ自粛からの再開
- 4 年間計画の立案・整備
- 5 目標や資質・能力の共有
- 6 学びや活動の情報発信
- 7 環境整備の充実（今年度の玉名市目標）

左は、昨年度の報告書で挙げられた課題です。本年度の目指す方向とさせて頂きました。項目を全部取り組むということではなく、学校や地域の実態に合わせて優先順位を付け、できるところから展開して頂ければと思います。

玉名市地域学校協働活動推進員について

玉名市では、平成30年度に6校区、地域学校協働活動推進員（これ以降、「推進員」と表記）2名で本事業が始まりました。その後、令和2年度に市内全小・中学校21校区に22名の推進員さんを配置して本年度を迎えています。その間、新型コロナウイルス感染症の流行により、活動の中断を余儀なくされた学校が多かったのではないかと思います。しかし、それぞれの校区で特色を活かした様々な活動が展開されてきました。それらの活動は、地域と学校の連携・協働を進めるキーパーソンとして推進員さん方の存在なしでは語られません。

本年度は、新しく9名の推進員さんを迎え、令和5年度がスタートしました。今後は、コロナ自粛から、少しずつ活動が再開していくと思われます。どうぞ推進員の皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。



地域学校協働活動
推進員

お知らせ

※昨年通り下記4点について、協力をお願いします。

「令和4年度地域学校協働活動実施報告書」の配付

- ◇ 昨年度末、地域学校協働活動実施報告書の原稿作成をお願いしたところ、ご多用の中、ご協力をいただきありがとうございました。冊子にまとめましたので配布しております。今年は「地域学校協働活動と学校運営協議会の一体的推進」の観点から、市内全校の学校運営協議会委員分も作成しました。（後日配付）配付・活用をお願いします。
- ◇ この報告書には、皆様の知恵と汗が凝縮されています。今後の方向性も示されていますので「報告書」としてだけではなく、「手引書」としても活用してください。
- ◇ 今年度末も同じような形式で作成する予定ですので、データの蓄積をお願いします。

「令和5年度版地域ボランティアバンク」の完成

- ◇ 昨年度末、地域ボランティアの作成のためのデータを送っていただき、ありがとうございました。おかげで令和5年度版ができました。ただ、個人情報漏洩防止の観点から、冊子にしての配布は控えます。要望があれば事務局（75-1312）まで連絡していただければお繋ぎします。

「中学校区推進員連絡会」について

- ◇ これからも中学校区毎に推進員連絡会を開催していただくようお願いいたします。推進員さん方の声を直接お聞きできる貴重な機会ですので、事務局も可能な限り同席させていただきたいと思っています。連絡（75-1312）をお待ちしています。

「授業参観・事業参観」について

- ◇ 子供たちの息遣いを直に感じたいです。推進員さん方、地域ボランティアの方、学校の先生方にお会いしてその想いに接したいです。可能であれば授業や事業の様子を参観させてください。連絡（75-1312）をお待ちしています。

※先生方への回覧と地域学校協働活動推進員さんへの手渡しをお願いします。



人を育て 地域を創る

文責：玉名市教育委員会

玉名市地域学校協働本部
事業だより第70号
令和5年5月29日

- ◆一年先を見る者は花を植え ◆十年先を見る者は木を植え
◆百年先を見る者だけが人をつくる（中国の故事から派生した言葉）



5月22日（月）に第1回本部運営会議を開催いたしました。
会では、今年度の事業計画を提案し、承認を頂きました。この事業計画を作成する際に重視したのは、以下に記した各学校と推進委員さん方から出された課題や今後取り組みたいことと昨年度末の本部運営会議で出された提言です。

① 各学校や推進委員さんからの課題：R4年度末報告書より

- 1 地域行事への参加、地域教材開発等（11校）
- 2 コロナ自粛からの再開（6校）
- 3 ボランティアバンクの充実（6校）
- 4 年間計画の立案・整備（5校）
- 5 目標や資質・能力の共有（5校）
- 6 学びや活動の情報発信（3校）
- 7 環境整備支援（玉名市の本年度の目標に設定）

② 本部運営委員会会議での提言：R4年度会議録より

- 1 何をするか積極的に伝え、好事例を紹介してはどうか。
- 2 ボランティアバンクの共有が必要ではないか。
- 3 校区の団体等との連携が必要ではないか。
- 4 地域行事への参加を積極的に行えないか。



これらの課題等に応え、解決につなげていくか考えて作成した計画です。詳細は、次回の地域学校協働本部会議（6月開催予定）でお伝えします。

	【コーディネート機能】	【多様な活動】	【継続的な活動】
事業内容	□学校運営協議会との一体的推進 ※教育総務課と連携 □地域学校協働活動推進員の配置（22名） □会議・研修会等の開催 (1)地域学校協働活動推進員への委嘱状交付式（4月21日） (2)本部事務局の学校訪問（6月～） ※各学校及び地域活動の情報収集 ※各学校及び地域課題への情報提供及び支援 (3)地域学校協働本部運営委員会（5月、3月） (4)地域学校協働本部（推進員・地域連携協働担当職員）会議（6月、2月） (5)中学校区推進員連絡会（中学校区ごとに開催。事務局も積極的に参加） (6)授業参観、事業参観	□様々な活動（各学校で特色ある活動を実施） ○学習指導 ○部活動指導 ○安全指導 ○学校行事 ○読み聞かせ ○環境整備 ○地域学習 ○地域施設交流 ○地域行事参加(地域の受け皿) ○児童生徒が参加企画している活動等 ※ 好事例の収集と共有の推進 □放課後子供教室（6月上旬～2月下旬） (1)玉水学びの教室（今年度9月より再開予定） (2)放課後むつみ教室	□研修、事業だより、市ホームページ、市広報誌等を活用した情報提供※1 □地域ボランティアの募集、地域ボランティアバンクの活用・更新※2、3 □社会に開かれた教育課程を踏まえた地域学校協働活動年間計画の作成・充実※4 □学校、PTA、社会教育関係団体、自治会等のネットワークを活用した周知※5 □ハンドブックや参考資料・事例集を活用した地域住民や学校関係者への普及啓発、理解の促進※12345
	1 各学校の課題への積極的な支援及び好事例紹介(年間計画、地域学習、ボランティアバンクなど) 2 ボランティアバンク内容一覧の紹介 3 地域の各種団体との連携推進(地域学校協働本部図の紹介) 4 3部門に分けた年間計画例の紹介 5 学校HPやお便りの活用と地域学校協働活動ページの位置づけ		

本部運営委員会で出された意見

会議では、山平県統括アドバイザー、岩田社会教育主事、各委員さん方から、以下のようなお意見を頂きました。今後の取組に活かしていきます。ありがとうございました。

◇地域学校協働活動について（目標や資質・能力の共有や教育課程に沿った年間計画の作成）は、推進員や学校が提案し、学校運営協議会の中で、議論して進めていくことが大切。加えて、中学校区の推進員で連携して進めることが効果的。

◇地域学習（地域行事への参加等）は、教育課程内（行事や総合的な学習等）で行えるが、休日の地域行事への参加は、保護者や子ども会、地域の団体等の受け皿が必要

◇地域との関わりを進めるには、中学校のボランティアクラブの活動を活用する。

◇教育活動への地域の支援を進めるには、学校運営協議会や行政との連携が重要

◇休みの日の地域行事に小・中学生の参加を呼びかける場合は、スポーツクラブや部活動との調整が必要

事業だより「人を育て地域を創る」発行計画

発行予定	内 容
69号（5月上旬）	事業の概要 等
70号（5月下旬）	事業の概要 等
71号（6月中旬）	事業の概要 等
72号（7月上旬）	放課後子供教室の活動紹介
73号（8月上旬）	玉名中校区（玉名町小、築山小、滑石小、玉名中）の活動紹介
74号（9月上旬）	玉南中校区（八嘉小、伊倉小、玉南中）の活動紹介
75号（10月上旬）	玉陵中校区（玉陵小、玉陵中）の活動紹介
76月号（11月上旬）	有明中校区（大浜小、豊水小、横島小、有明中）の活動紹介
77月号（12月上旬）	岱明中校区（大野小、睦合小、鍋小、高道小、岱明中）の活動紹介
78号（1月上旬）	天水中校区（玉水小、小天小、天水中）の活動紹介
79号（2月上旬）	年間の総括的内容
80号（3月上旬）	年間の総括的内容

寄せられた情報をもとに「事業だより」を作ります。よろしくお願いします！！

- ① 各校区の活動の様子を事業だよりで紹介していきたいと思います。活動の様子を写真に撮り、写真のタイトル（〇年生の～、◇◇の学習、☆☆の時間、△△活動等）や子供、地域ボランティア、地域学校協働活動推進員、担任や地域連携担当職員等のコメントを蓄積しておいてください。
- ② 上の「事業だより発行計画」をご覧ください。発行予定の前月に本部事務局からデータ提出のお願いを発信しますので、それに依って提出をお願いします。
- ③ データの提出先は、community@city.tamana.lg.jp です。
- ④ 皆様から寄せられた情報等をもとに事業だよりを作っていきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。
- ⑤ 変更の希望やご意見、お尋ね等がありましたらコミュニティ推進課 75-1312 までお寄せください。



人を育て 地域を創る

文責：玉名市教育委員会

玉名市地域学校協働本部
事業だより第71号
令和5年6月23日

◇第1回地域学校協働本部会議（推進員、担当者合同）

6月19日（月）20日（火）、の2日間で、本年度第1回地域学校協働本部会議を開催しました。会議では、まず、本年度の事業計画をお伝えし、チェックシートにより自校の連携・協働状況を確認していただきました。（資料1）そして、最初に3部門に分かれた年間計画例（資料2）を使用して、ワールドカフェ方式でワークを行いました。今年度の計画の把握と点検が行えたのではないかと思います。次に、地域学校協働本部図（資料3）を作成しました。この地域学校協働本部図は、緩やかなネットワークを構築するのが目的ですが、子供の学びの場やボランティアに協力いただける団体にどのようなものがあるかを知るためにも有効だと思っています。



◇活動の様子！

3部門に分けた年間計画例と地域学校協働本部図例を使用して、ワークを行いました。情報交換では熱心に協議が行われました。



◇まずは、チェックを！

「学校と地域との連携・協働状況の確認」の表です。まずは状況を把握し、実態に合わせて無理をせずに少しずつ次の取組につなげていきましょう。

	（資料1） チェック項目	× △ ○ ◎
1	地域と学校がともにビジョンやめざす子供像を共有する熟議等を行っている。	
2	地域連携・協働活動に関する年間計画が作成されている。	
3	教職員が地域連携や協働活動の意義を共有する場がある。（研修や職員会議等）	
4	地域学校協働活動推進員との話し合いや情報共有がなされている。	
5	ボランティアルームの設置や教職員への周知など、ボランティアの活動環境が整っている。	
6	活動が子供たちにとって、体験にとどまらず、ねらいに沿った教育活動になっている。	
7	ボランティア募集や学校の教育活動、ボランティア活動の様子を情報発信している。	
8	活動継続のために、振り返りや情報の蓄積を行うなどチーム体制づくりが行われている。	
9	活動の記録を取りまとめ、次年度の年間計画の見直しに生かしている。	

裏面あり

◇3部門に分かれた年間計画例作成

ワークで、自校の取組を把握するために、3部門に分かれた年間計画例を作成しました。

現在、計画して一番取り組まれている内容が、表左側の授業支援の活動ではないかと思います。読み聞かせの取組も多くの学校で、重点的に取り組まれてきています。

今年度は、赤枠で示した活動を意識してみましようと呼びかけました。地域学習や地域の課題解決につながる活動と環境整備の活動です。もちろん学校や地域の実態に合わせて行うことが大前提です。

令和5年度	「〇〇小・中学校」年間活動計画		2023. . 付
分類	授業支援活動	地域関連活動	安全・環境維持活動
活動内容	子どもの学びへの支援や読書活動を推進する	地域の産業や文化、伝承等の体験活動を推進する	登校・安全指導 環境整備 防犯活動等
担当	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
年間継続活動	授業支援等 読み聞かせ・図書館等	地域を知る学習 地域課題解決等	登校・安全・防犯等 環境整備等
4月		生活科引率ボランティア (山田のふじ引率)	花摘み等
5月		ティッシュ配り (児童会、民生委員)	花植え等
6月	習字指導 (3年生)	2年生生活科4回 (防災センター)	プール監視 (73時間)
7月	小物づくり (なかよし学級)	6年平和学習	プール掃除・除草ボランティア
7月	習字指導 (3年生)		

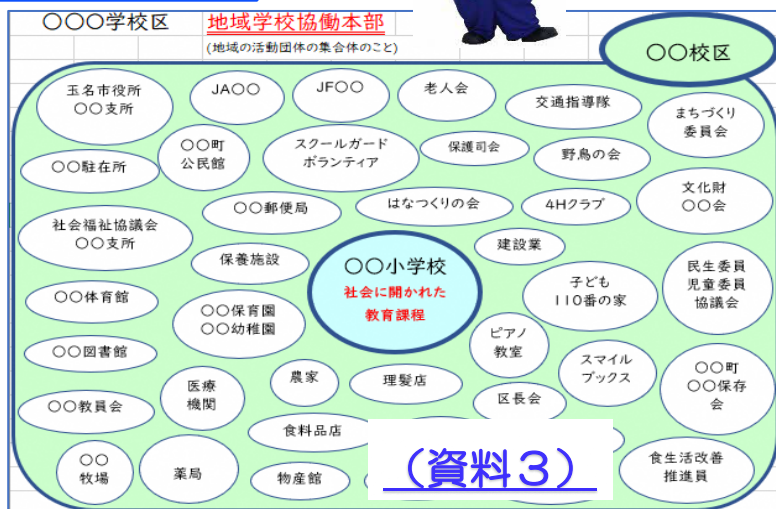
◇地域学校協働本部図例の作成！

2つ目のワークでは、「地域学校協働活動本部図」の作成を行ないました。

校区内にどのような団体や組織があるか意外と知らないものです。まずは、この「地域学校協働活動本部図」を考えることで、校区にどのような団体があるか知っていただき、緩やかなネットワークを構築していただければと思います。

その上で、子供たちの学びの場として協力をお願いしたり、ボランティアを募集する対象として呼びかけたりできるのではないかと考えています。

この図も各学校の課題解決につながる場合は、必要に応じて活用ください。



◇自校の課題解決につなげてください。

今回の研修では、昨年度末に各学校から出された課題や令和5年度に取り組みたいことに應える内容をお伝えしました。研修で扱った2つのワークや他の提案も、各学校で必ず取り組んでいただくものではありません。自分の学校の課題解決につながる場合は、活用していただけるとありがたいです。

各学校の取組は、学校や地域の実態に合わせ、課題に優先順位を付け、無理せずできることから一つずつ取り組んでいただくようお願いします。

今後も各学校から効果的な取組をお聞きし、他の学校の参考になるように情報提供を行っていきたいと思います。

お願い

ボランティアを募り、「地域学校協働活動」を推進していくことは、とても大変な取組だと思っています。日頃の推進員さんや担当者の方々の取組に感謝いたします。

もう紹介されているとは思いますが、改めてお伝えします。「地域学校協働活動推進員」さんの身分、勤務内容・勤務時間等を先生方に紹介してください。また、子供たちや保護者、地域の方々への紹介もよろしくお願いします。地域学校協働活動推進員さんがスムーズに動くことのできる環境づくりをお願いします。

※先生方への回覧と地域学校協働活動推進員さんへの手渡しをお願いします。



人を育て 地域を創る

文責：玉名市教育委員会

玉名市地域学校協働本部
事業だより第72号
令和5年7月12日

地域学校協働活動の中では、放課後子供教室も行われています。現在、玉名市では、睦合小学校区の「放課後むつみ教室」と玉水小学校区の「玉水学びの教室」の2地区です。玉水小学校区では、コロナ期間中は中断していましたが、今年度9月より再開します。



放課後むつみ教室（放課後子供教室）が始まりました

放課後子供教室とは、放課後に、小学校の余裕教室等を活用し、地域の方々の参画を得て、子供たちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等を実施することにより、子供たちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境をつくる取組です。

「放課後むつみ教室」が6月22日（木）にスタートしましたので、その様子を紹介します。「開校式」「ぶんぶんゴマづくり」「科学遊び」の3回分は、今年度の活動の様子です。

放課後むつみ教室

- ☆設置場所 睦合小学校
- ☆コーディネーター 今村恵子さん
- ☆安全管理員 3名
- ☆学習指導員 9名
- ☆参加人数 7名（1年生）



「茶道」！



「開講式」！



「バルーンアート」！



「マジック」！



まず、宿題を済ませます。



「ぶんぶんゴマづくり」！

今年度は、「ぶんぶんゴマづくり」と「科学遊び」を参観しました。楽しく、そして集中して活動ができていました。



「餅つき」！



「グランドゴルフ」！



「科学遊び」！

裏面あり

玉水学びの教室（放課後子供教室）が再開します。（写真は以前のものです）

「玉水学びの教室」が4年ぶりに再開します。7月中旬から募集を開始し、9月から再開予定です。



「理科遊び」!



「開講式」!



「おやつ作り」!



「工作遊び」!

【予定されている体験や活動】

- ① 楽しい英会話
- ② おやつ作り
- ③ グランドゴルフ・ゲーム
- ④ アレンジフラワー
- ⑤ 漫画・絵を描こう
- ⑥ 工作遊び
- ⑦ レクリエーション遊び
- ⑧ 理科遊び
- ⑨ 雅楽
- ⑩ たこ作り
- ⑪ 書に親しもう
- ⑫ 楽しく学習



お知らせいただいた活動を実践させていただきました。

【総合教育会議】（玉名中学校）

【シャクつり】（滑石小）

【田植え：4Hクラブ】（横島小）



【シルバーオリンピック】（横島小）



【有明中校区推進員会議】



【玉中、玉陵中校区推進員会議】



【玉中校区あいさつ運動】（築山小）



【玉中校区あいさつ運動】（滑石小）



《連絡ありがとうございました》



各学校で、多様な活動が行われていました。コロナ禍以前に戻りつつあるのを実感しました。
連絡をいただくと参観に伺い、取材させていただきました。

◇玉名町小校区は別日に予定されていましたが、雨天のため中止になりました。

※先生方への回覧と地域学校協働活動推進員さんへの手渡しをお願いします。



人を育て 地域を創る

文責：玉名市教育委員会

玉名市地域学校協働本部
事業だより第73号
令和5年8月8日

夏休みに入り一段と暑さが増しています。子供たちも活動の場を家庭や地域に移しているところだと思いますが、熱中症や水難事故に十分注意して活動に取り組んでほしいと思います。

一方、私たちは、夏休みの時間を利用して、学校訪問をさせていただいています。担当者や推進員さんには、忙しい中に時間を作っていただき大変ありがとうございます。おかげで、特色ある取組や工夫、困りごとなどを直接お聞きすることができています。内容は、後日まとめて提供していきたいと思っています。



ヒラタクワガタ(オス)

前号で放課後子供教室の活動がスタートしたことをお伝えしました。そして、今回号からは各校区の活動の様子を紹介していきたいと思います。今後の予定は第70号の裏面をご覧ください。

今回は玉名中学校区(滑石小、玉名町小)の活動の様子をお伝えします。

滑石小学校



1・2年生「老人会との交流！」

推進員がコーディネートし、老人会の方と1・2年生とで、いもの苗植えの交流を行いました。

児童からは、「いもの植え方が分かった。たくさんとれるようにお世話したい。」という感想がありました。

老人会の方々は、「子どもたちとふれあうことで元気が出る。」「収穫が楽しみ」とおっしゃっていました。

担任は、「とても良い交流ができ、子どもたちに良い体験ができた。」と交流のよさを実感していました。



3年生以上「しゃくつり、貝堀大会！」

推進員のコーディネートのもと、地域や漁協の協力を得て、しゃくつり・貝堀大会を行いました。

4年ぶりの開催で、児童は、とても喜んで参加し、笑顔や歓声が絶えませんでした。参加した教師からも一緒になって活動し、「とても良い体験ができた」「実施できて良かった」という声が聞こえました。

地域の方々も、子どもたちと一緒に楽しめたと喜んでおられました。



2年生「まち探検」！

2年生は、生活科で「まち探検」に出かけ、その支援として推進員が同行しました。

子どもたちからは、「私たちの安全を見守ってくれてありがとう。」「地域のことを教えてくれたありがとう。」と感謝の言葉が聞かれました。

児童の喜ぶ姿を見て、担任も、「地域のことがいろいろと知れて、とてもいい学習になった」と手応えを感じていました。

裏面あり

玉名町小学校

【1年生：見守りボランティアさんとの顔合わせ】



1年生の4月は、4時間授業です。そのため、1年生だけで下校することになります。慣れない通学路を自分たちだけで歩いて帰るのは危険なので、4月は地域の方や保護者の方が「見守りボランティア」として、一緒に下校してください。

この日は、初めて一緒に下校する日だったので、「顔合わせ会」を行いました。ボランティアリーダーさんから、「安全に家に帰ってほしいので、きまりやルール、私たちの言うことを守ってください。」という話をいただきました。



【3年生：まちたんけん】

3年生は社会科の学習「わたしたちのまちと市」で、学校周辺の東西南北の様子を、4回に分けて見学に行きました。交通量が多い校区内を、より安全に見学ができるよう、たくさんの引率ボランティアさんにご協力いただいたおかげで、子どもたちは、しっかりと学習することができました。



【6年生：平和学習】

くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワークの高谷和生さんと荒尾市戦史研究家の松山強さんをお招きして、平和学習を開きました。

写真や模型、実際に使われていた服や弾薬など、貴重な資料を実際に目にしたり、高谷さんが調査・研究してこられた結果を聞いたりする中で、平和の尊さや戦争の愚かさについて学ぶことができました。

高谷さんは、「戦争は遠くの出来事でも昔の出来事でもありません。自分のこととして、何があったのかを見つめ直してほしいと思います。」と話されました。

【全学年：読み聞かせ】



地域の方や九州看護福祉大学の学生さん、玉名女子高校の生徒さん、保護者さんに、月2回ほど、金曜日の朝に読み聞かせをしています。

学年にあった本を選んだうえで、しっかり聞いてもらおうと工夫して読んでいただけるので、子どもたちも毎回楽しみにしています。

※先生方への回覧と地域学校協働活動推進員さんへの手渡しをお願いします。



人を育て 地域を創る

発行：玉名市教育委員会 コミュニティ推進課

玉名市地域学校協働本部
事業だより第74号
令和5年8月21日

夏休みも残り1週間となりました。児童・生徒は、少し焦りながら宿題に取り組んでいるところでしょうか。案外、最近の子供たちは、計画的に取り組んで、夏休み明けの準備を済ませているのかもしれませんが。どちらにしても、元気な笑顔で登校してくてくれるのが一番ですね。



ノコギリクワガタ

先生方も残り1週間、休み明けの授業準備等でお忙しいことと思います。お疲れ様です。

28日(月)からは、教育活動が再開しますので、地域学校協働活動の推進では、大変お世話になります。

今回は玉名中学校区(築山小、玉名中)の活動の様子をお伝えします。

築山小学校

2年生の「まちたんけん！」



町たんけんでは山田の藤の見学に行ったときに、推進員のコーディネートのもと、見守りボランティアとして引率いただきました。

児童は、山田の藤の美しさから、地域のよさやすばらしさを実感していました。地域の方も、児童との交流を楽しまれていました。

6年生の平和学習！」



推進員のコーディネートのもと、松村誠一氏にお越しいただき、「ふるさと玉名の戦前・戦中・戦後の暮らし」をテーマに講話をしていただきました。

児童は、身近な地域での戦争中の様子や苦労を知り、平和の大切さについて認識を深めていました。担任は、今回の講話を通して学んだことを、児童の調べ学習や長崎での現地学習に生かしていきたいと話していました。

校区の環境づくり



推進員のコーディネートのもと、地域の花壇に築地下地区の親子と地域の方々と花の苗を植えました。

暑さにも負けず、児童は移植ごてで穴を掘り、花苗を一本ずつ丁寧に植えていました。たくさんの親子が参加したことに、地域の方々も喜ばれていました。

裏面あり

玉名中学校

【小中合同挨拶運動】 玉名町小のあいさつ運動は、雨のため中止となりました。

滑石小学校でのあいさつ運動



築山小学校でのあいさつ運動



玉中至心プロジェクトの取組の1つである挨拶運動を、小中合同形式で年間3回を計画しています。コロナの影響で、前年度までは思うように実施できませんでした。

今年度は学校運営協議会の皆様や、支館長様を通じて地域の方へ呼びかけ（生徒会作成のポスター配付）を行いながら、取り組んでいきます。

この活動を通して、玉中至心「挨拶する心」を身につけられるように、地域の方と一緒に今後の活動も積極的に取り組んでいきたいと思っています。

一人一人と挨拶を交わすことができてよかった。

今回は、小学生とハイタッチをして挨拶をするということもできてよかった。ハイタッチをしてみて、お互いに笑顔になれると思ったし、挨拶とプラスで行うとコミュニケーションになり、本当に友達づくりの第一歩になるなと感じた。

（生徒の感想）



【読み聞かせボランティア】

今年度も、玉名中学校お話会「とわの木」の会員やボランティアの方々を中心に取り組んでいます。年間9回（各学年3回ずつ）を計画しています。生徒の興味を引きつけ関心を高めるために、社会情勢やタイムリーな話題など幅広い視点で、読み聞かせの本を選定しながら実施してもらっています。生徒にとっても、心穏やかにこの時間を過ごすことができます。



（ボランティアの方々の感想）

○先日 G7 サミットが広島で開催されたので、『つるのいのり』（さだ子の折り紙）の本を読みました。

○「誰かの一言が、誰かの居場所をつくる」生徒さんから教えてもらいました。絵本の中からこの言葉思い浮かべたそうです。とても素敵な言葉を教えてもらい、私もとってもうれしかったです。

職業講話を実施しました。10 職種《看護師、介護士、警察・消防、元新聞記者、理美容、茶舗店、飲食店、スポーツインストラクター、動物病院》の講師をお招きしました。生徒は、20 人のグループに分かれ話を聞き、その後質問をしました。

講師には事前に次の内容を講話の中に入れていただくようお願いしていました。

- ① 仕事の具体的内容
- ② 仕事に就いたきっかけ
- ③ 仕事をするために必要な資格等
- ④ 中学生のうちどのような力をつけるとよいか

生徒は集中して聞き、たくさんの質問をしていました。

【2年生：職業講話】



※先生方への回覧と地域学校協働活動推進員さんへの手渡しをお願いします。



人を育て 地域を創る

発行：玉名市教育委員会 コミュニティ推進課

玉名市地域学校協働本部
事業だより第75号
令和5年9月11日

8月17日（木）に、「地域と学校の連携・協働」関係者等研修が、県庁大会議室で開催されました。玉名市からは、5名が参加し学びを深めてきました。文科省のコミュニティ・スクール（CS）マイスターをされている鳥取県南部町教育長の福田範史氏が「CSと地域学校協働活動の一体的な推進について」というテーマで報告をされました。

報告では、地域内に高校がないにもかかわらず、高校生とその後の青年たちの組織を立ち上げ、地域の行事を中心に進めていく活動が伝えられました。

今後は、この立ち上げた組織を青年議会へとつないでいき、ゆくゆくは、町議会議員、役場職員、町長へという壮大な構想が計画されていました。地域の若者を中心に置き、活気あるまちづくりを進める取組がとても魅力的に思えました。

今回は玉南中学校区（伊倉小、玉南中、八嘉小）の活動の様子をお伝えします。

伊倉小学校



全学年行事「交通教室！」

地域学校協働活動推進員の松本さんの呼びかけにより、玉名市安全協会、駐在所員、地域見守り隊、地警連の方々に来校していただき、交通安全教室を実施しました。

児童は、日頃の見守りに感謝するとともに、今後、交通ルールを守ることを誓いました。



全学年行事「不審者対応避難訓練！」

不審者対応避難訓練に伊倉駐在所の石松さんと地域見守り隊の徳山さんに参加していただきました。

児童は、石松さんや徳山さんのお話を聞き、地域の方々に見守られていることを実感し、安心したようでした。



3年生社会科「商店の工夫を見つけよう！」

3年生は社会科でお店の仕組みや工夫を学習しています。地域のお店に行き、実際にどんな工夫がされているのかを学びました。

お店の人から実際に話を聞いたり、お店の様子を見せてもらったり、普段は入ることのできないお店の、奥での仕事を見せてもらったりと充実した学びの時間となりました。

裏面あり



私は、母が保育士なので保育士になりたいと思っています。この職場実習で保育士の意外な一面を知ることができ、大変だけれど子供のために一生懸命頑張ろうとする気持ちが分かりました。この体験で将来の夢を固めることができました。

生徒の感想



今回の職場体験学習で働くことの大変さと楽しさを感じることができました。部屋の掃除では、やることが多く、手際よく作業を進めることができて、改めてプロのスタッフの方はすごいなと感じました。

【2年社会科「身近な地域」の学習】 ゲストティーチャーとして松本重美さんに伊倉の歴史について「校区の半分が海だったことや下地中分線のことなど」を説明していただきました。この後、生徒はそれぞれのテーマについてまとめ発表を行いました。

生徒の感想



- 1 とても見やすくわかりやすいスライドで内容がスッと入ってきました。仮説を立てて考察していること、結論がはっきり述べられていること、どちらも参考にしたいと思いました。
- 2 下地中分線のことがよく説明されていた。
- 3 神社が二つ建てられてある理由を知ることができてよかったです。
- 4 加藤清正が貿易をしていたのが分かりやすかったです。

【地域行事】 4年ぶりに行われた「八嘉夏祭り」にボランティア募集したところ、8名の生徒の参加がありました。朝のテント設営から出店(「焼きそば」「射的」など)の手伝いをしました。



朝のテント設営はとても大変でした。でも大人の方々が教えてくださったり、助けてくださったりしたおかげでうまく立てられました。夜市ではボール入れを担当しました。私たちに完全に任せていただきました。お客さんも順調にきてくれて私たちもすごく楽しかったです。最後の商品渡しもすごく楽しくてたくさんの交流ができました。

生徒の感想

八嘉小学校

5年家庭科「調理実習」



推進員のコーディネートのもと、3名の地域の方々をお招きし、家庭科で「味噌汁づくり」を行いました。

児童は、「ジャガイモの芽の取り方を教えてもらった。包丁の角を当てると良いと教えてもらって良かった。」と感想を持ちました。

引率ボランティアの方は、「子どもたちと触れ合うことができて元気をもらった。」とのことでした。

担任は、「包丁を使うので、安全に学習を行う上で、班毎に支援頂いてとてもありがたい。」とのことでした。

5年総合的な学習の時間「田植え」



推進員のコーディネートのもと、総合的な学習の時間に「田植え体験」を行いました。

児童は、「田植えを初めて経験した。ご飯を残さず食べたい。」と感想を持ちました。

担任は、「田植えを体験したことのある児童は少なかったのですが、とても良い機会になったし、米作りの体験を通して、食の有り難さに気付く機会となった。」とのことでした。

6年社会科「租税教室」



推進員のコーディネートのもと、玉名市から講師をお招きし、社会科の時間に「租税教室」を行いました。

児童は、「税金のことを詳しく学習して、改めて税金は必要なお金であると分かった。」と感想を持ちました。

担任は、「講師の先生に税について具体的な話をしていただいたことで、児童は税をより身近に感じることができ、税への理解が深まった。」とのことでした。

6年社会科「八嘉の歴史学習」



推進員のコーディネートのもと、地域の歴史家である谷口氏を講師としてお招きし、社会科の時間に「八嘉の歴史学習」を行いました。

児童は、「八嘉の歴史を新しく知ることができた。他にももっと知りたい。」と感想を持ちました。

担任は、「八嘉の歴史や先人の地域に対する思いを聞いて、児童は、八嘉校区の歴史について理解を深めるとともに、地域を愛する気持ちを高めることができた。」とのことでした。

お知らせいただいた活動を参観させていただきました。

【クリーン大作戦】(玉名町小)

【ホテル学習発表会】(睦合小)

【玉名ブランド】(横島小)



※先生方への回覧と地域学校協働活動推進員さんへの手渡しをお願いします。



人を育て 地域を創る

発行：玉名市教育委員会 コミュニティ推進課

玉名市地域学校協働本部
事業だより第76号
令和5年10月5日

今年の夏は、例年以上に熱い夏でしたが、児童・生徒は、暑さにも負けずにいろいろな活動に取り組んでくれたのではないかと思います。前期も6日（金）で終わります。10月になって、気候も良くなり、学びやスポーツに最適な季節となりました。児童・生徒が、目標をもって多くのことにチャレンジしていけるよう地域学校協働活動を充実させていきましょう。

今回は玉陵中学校区(玉陵小、玉陵中)の活動の様子をお伝えします。

玉陵小学校

委員会活動 花の苗植え



小・中学校の地域学校協働活動推進員の松川さん、荒木さんに指導していただき5・6年生の環境・ボランティア委員会の子どもたちがプランターに花の苗を植えました。子どもたちは、毎日の水やりなどのお世話を頑張り、綺麗な花がたくさん咲きました。お世話を頑張った人も花を見る人たちも心が温かくなりました。いつも環境面に配慮していただく推進員の松川さん・荒木さんありがとうございます。

5年生総合的な学習「田植え体験」



保護者の一瀬さんのご協力により、5年生が総合学習の時間に「田植え体験」を行いました。子どもたちは、ぬかるんだ田に足を取られ、転びそうになったり、足がぬけなくなったりと苗を植えることの大変さを感じたようです。田植えを終えた子どもたちの感想には「農家の人たちの苦勞が分かりました。ご飯を残さず食べます」などありました。このあと、稲の観察を続け、秋には稲刈り体験を予定しています。

4年生総合的な学習「玉名市の祭り・行事を調べよう」



4年生が地域にある梅林天満宮の歴史と伝統行事の流鏝馬について調べました。神主の井牟田さんに話を聞き、1000年以上の歴史を持ち、天満宮の中でも一番古い歴史があるという話や地元の人たちは流鏝馬のことを「ヤクサンドン」と呼んでいるという話を聞き驚いた様子でした。子どもたちの中に地域の宝である梅林天満宮を大切に守りたいという意識が生まれたようです。

裏面あり

玉陵中学校



「おもてなしフラワープロジェクト」

令和2年度から実施している「おもてなしフラワープロジェクト」を今年度も実施しました。くまもと県北病院と新玉名駅様へ学校で育てたプランターの花を届けました。リヤカーにプランターを載せ、学校運営協議会の方と玉陵中学校と玉陵小学校の子どもたちが協力して花を運び、花壇に植えたりプランターを置き、飾り付けをしたりしました。くまもと県北病院や新玉名駅にお越しの際は是非ご覧ください。

☆児童生徒の声：病院を訪問したり、新玉名駅を利用したりする人が喜んでくれたらうれしいです。

☆地域学校協働活動推進員の声：今年も実施できてとてもうれしい。子どもたちがとても頑張ってくれました。

「小中合同運営協議会」



第1回の学校運営協議会が実施されました。授業参加の後、学校経営の方針を承認していただき、学校の取組について様々な意見をいただきました。また、玉陵小学校の各委員長が今年度の抱負を発表し、玉陵中学校の会長と副会長が生徒会目標を、部活動代表が中体連に向けての抱負を発表しました。

☆学校運営協議会の方の声：朝からの挨拶運動などで子どもたちが元気に挨拶をしてくれるので元気をもらっている。小学生も中学生もいろいろ頑張ってくれているのでうれしい。

小中合同引き渡し訓練



小中合同の引き渡し訓練では、学校運営協議会の方が車の誘導等のお手伝いをしてくださいました。引き渡し訓練は無事に終了することができました。

☆担当者の声：地域学校協働活動推進員の方を通して、車の誘導などを学校運営協議会の方が手伝っていただいたおかげで、とてもスムーズに実施することができました。教職員だけでは人手が足りないので、支援がとても有り難かったです。

「職業講話」



推進員の方が紹介してくださった方が職業講話をして下さいました。勤務されていた時のエピソードや教訓とすべきことなどを話してくださいました。

☆生徒の声：「返事、挨拶、後片付けがしつきの三原則」「一人のお客様の後ろには1000人の人がいると思え」「笑顔が人を助ける」などの言葉が印象に残りました。

「職業体験学習」



推進員の方に段取りをしていただき、職場体験学習を実施しました。

生徒の声：小さい子たちの担当だったため、上手く言葉が通じなくて苦労した。まだまだ行きたかったなあと思った。

生徒の声：三日間でたくさんのことが学べた。将来、習ったことを生かして仕事をしたいです。



※先生方への回覧と地域学校協働活動推進員さんへの手渡しをお願いします。



人を育て 地域を創る

発行：玉名市教育委員会 コミュニティ推進課

玉名市地域学校協働本部
事業だより第77号
令和5年10月25日

後期が始まり、2週間が過ぎました。朝夕は、めっきり涼しくなり、学びの秋、運動の秋の季節となりました。児童・生徒がいろいろな活動に取り組むには、絶好の気候で、各学校では、多くの学びや活動が計画されていると思います。各学校の推進員さんや担当者の皆さんには、大変お世話になります。



今回は、放課後子供教室(睦合小学校、玉水小学校)の様子を紹介します。

睦合小学校「むつみ教室」

「ストーンアート」講師：川元 はま子さん 9月21日

「ストーンアート」は、石に絵の具やマジックペンで色を付け、動物やキャラクターを作成するものです。



子どもたちは、まず自分の描くものを決め、それに合った石の形を選び、色を付けていきます。真剣な表情で取り組んでいました。

「茶道」9月28日
講師：赤松 美和子さん

まず、基本の所作を学び、実際に抹茶とお菓子をいただきました。真剣な表情の後、お菓子を食べる笑顔が印象的でした。



「マジック」10月5日 講師：徳永 朝紀さん



別々の三つのわっかが、絡み合ったり、注いだ牛乳が別のものに変わったりする不思議な手品が披露されました。真剣な眼差しながらも、必死に種を明かそうとする姿もかわいかったです。

裏面あり

玉水小学校「学びの教室」

「グランドゴルフ」 講師：亀丸 翼さん



9月14日

まずは、初めての体験なので、打つ練習をしました。その後、ティの場所を遠い、中央、近いの3ヶ所から子供たちが自由に選び、ゲームをしました。子供たちは、段々慣れて上手になり、ハイスコアの争いとなりました。

「パステルアート」 9月19日 講師：糸永 千代美さん



パステルアートは、パステルを網にこすりつけ、粉末にし、それを指で紙に塗りながら絵やデザインを描き、それに型抜きを当てて消しゴムで消しながら作成していくものです。

子どもたちの、真剣な表情が素敵でした。

「アレンジフラワー」 10月17日 講師：楠本 砂恵さん



アレンジフラワーは、円錐の筒を花瓶に見立てて、植物の木の枝や葉、実などにコーティングしたものを生け花のようにさしたり接着剤を使ってくっつけたりしながら完成させます。

一人一人の感性が表れる作品です。

「工作遊び」 10月19日 講師：濱崎 光邦さん



この日は、木の板を使い、高さの違う台を作り、そこに階段を付け、木切れに棒を二本通し、段差を利用して動かすおもちゃづくりでした。

釘の打つ場所に印をつけたり穴をあけたりして作りやすいように工夫してありました。

◇推進員さんの交代及び増員がありました。

【交代】 玉南中学校 日田 匠さん → 林田 享（たかし）さん
横島小学校 田中 順子さん → 島村 千種（ちぐさ）さん

【増員】 玉名町小学校 平島 由美子さん

◇ 交代されるお二人には、大変お世話になりました。特に田中順子さんは、長い間ありがとうございました。新しく推進員になられる三名の方には、これからよろしくお願いします。



※先生方への回覧と地域学校協働活動推進員さんへの手渡しをお願いします。



人を育て 地域を創る

発行：玉名市教育委員会 コミュニティ推進課

玉名市地域学校協働本部
事業だより第78号
令和5年11月9日

後期が始まり、各学校では、充実した教育活動が展開されています。それに合わせて、地域学校協働活動もいろいろ工夫して取り組んでいただいていることに大変感謝しています。

豊水小では、地域行事として、15年ぶりに神楽（小島）の復活に取り組まれたり、鍋小学校では、鍋支館や運営協議会、地域住民の協力のもと、学校行事として、20年ぶりに地引網の復活に取り組まれたりしています。この他、それぞれの学校で年度当初に掲げられた地域課題への取組が進められています。ありがとうございます。

今回は、有明中学校区（有明中学校、横島小学校）の様子を紹介します。

有明中学校

2年総合的な学習の時間「職業講話」



6月21日（水）、推進員のコーディネートのもと、2年生を対象に「職業講話」を実施しました。5つの事業所から来られ、仕事をする上で大切なことなど話していただき、職場体験に向けて貴重な学びができました。生徒の感想には「今回の講話で、どの仕事も『人のため』や『気遣い』というキーワードが出てきました。これからは人のためにできることを誰よりも早く見つけ、行動に移したいと思います」等がありました。

2年総合的な学習の時間「職場体験学習」 8月29日（火）～8月31日（木）



推進員のコーディネートのもと、2年職場体験学習を行いました。体験を通し子どもたちは、仕事をする人がいるから自分たちの暮らしが成り立っていることや、あいさつ・コミュニケーションの大切さを学びました。また、事業所からは、「自分から進んで仕事を探し、積極的に動いてくれました。この3日間が進んでいく道に何かしら影響をもたらしてくれたらうれしいです。」等の感想をいただきました。

1年総合的な学習の時間「平和をつなぐ」



1年生は「平和をつなぐ」というテーマのもとに平和学習に取り組んでいます。その学習の一環として、地元にある大浜飛行場跡について学習しました。

推進員から地域住民である戸寄孝行さんに講師を依頼し、9月25日（月）に「大浜飛行場と飛行訓練」についての講話、9月28日（木）に飛行場跡のフィールドワークを行いました。

実際に見学し学び感じたことを、その後の一人一人の調べ学習へつなげていきました。

裏面あり

横島小学校

6年総合的な学習の時間「横島の歴史をひもとこう」(地域学習)



文化財保存顕彰会の皆様に講師に干拓の歴史を学びました。

現地学習では展望公園から校区を眺めたり、実際に経塚や石塘などを見学したりして学びを深めました。

4Hクラブとの連携 1年生活科「芋植え」 5年総合的な学習の時間「米作り」(田植え、稲刈り)



4Hクラブのお兄さんたちに、いも苗植えや田植えの仕方を優しく教えていただきました。事前の準備等の段取りもしっかりとさせていただいたので、作業が楽しくスムーズに進みました。表情が素敵でした。

学びの充実・支援 5年総合的な学習の時間「玉名ブランド」 5・6年家庭科「裁縫」「ミシン」



推進員のコーディネートのもと、学びの充実や支援が行われています。「玉名ブランド」では、地域の8つの事業所の方の講話、家庭科「裁縫」「ミシン」では、地域の方に支援をしていただきました。

地域課題解決 4年体育「潟担い節」・クラブ活動「朗読劇」、行事「シルバーオリンピック」(交流)



4年生と老人会のベタリングでの交流

横島町は、400年前、海に浮かぶ孤島だった時代から、先人の多くの取組を経て、干拓によって、町ができていった歴史を持っています。地域の方は、この歴史を子供たちに受け継いでほしいという強い願いを持っておられます。そこで、横島小学校では、3・4年生が、運動会で「潟担い節」、6年生が、歴史学習で「横島の歴史をひもとこう」を学んでいます。加えて、クラブ活動では、まちづくり委員会と劇団「きらら」の協力で「海から生まれた町横島『石塘築堤』人柱」の「朗読劇」に取り組んでいます。

子供たちは、これらの学びで、横島町の歴史を知り、先人の苦労や頑張りに気づいていきます。そして、子供たちが、町や先人へ誇りを持つことにつながっていくのです。

※先生方への回覧と地域学校協働活動推進員さんへの手渡しをお願いします。



人を育て 地域を創る

発行：玉名市教育委員会 コミュニティ推進課

玉名市地域学校協働本部
事業だより第79号
令和5年11月20日

最近、朝夕に気温が下がり、一気に冬が訪れたような気候となっています。ちょっと前までは、高温の日が続いていましたが、児童生徒や先生方、推進員の皆様の体調はいかがでしょう。また、今年の冬は、スーパーエルニーニョ現象の影響で、暖冬なのだそうです。ありきたりになりますが、早寝早起き朝ご飯を実践し、体調の維持に努めていきましょう。

今回は、有明中学校区(大浜小学校、豊水小学校)の様子を紹介します。

大浜小学校

今年度5月に入り、新型コロナウイルス感染症の法的分類が引き下げられたことにより、引き続き感染対策をしながらではありますが、地域学校協働活動を実施しています。どの活動も地域学校協働推進員の清原さんにコーディネートしていただき、地域の方々にお世話になりながら活動を展開しています。今年度実施した活動の一端を紹介します。

5年総合的な学習の時間「田植え」「稲刈り」



地域の民生委員さん方が早朝から来校され、あいさつ運動を展開してくださいました。児童からは「朝のあいさつは気持ちがいい」民生委員さんからは「子供たちに元気をもらった」という声がありました。

地域住民の方のご厚意で、学校近くの水田で田植え(6月)稲刈り(10月)と一連の稲作体験活動をさせていただきました。

児童からは「米づくりの大変さや楽しさがわかった」地域の方からは「子供たちのやる気と頑張りに感心した」という感想がありました。

「運動場整備」

P T A並びに地域の方のご厚意で、夏休み明けの運動場に重機をつかって実施していただきました。

児童からは「きれいな運動場になったので、10月の運動会をがんばる」というような声が聞かれました。



裏面あり



植えた花の苗が、たくさんのきれいな花を咲かせてくれるように願って、大事に植えて、大事にお世話をしています。また、おいでいただいた豊寿会の方々をはじめ、地域の皆様方に支えて頂きながら、子どもたちも健やかに育っており、大変有難く思っております。

高学年「プール掃除」保護者ボランティア5月29日(月) ※ありがとうございました。



保護者3名が、高圧洗浄機を使用して、また子どもたちも一生懸命に取り組んでくれたおかげで、予定よりはやく作業を終えることができました。そして水を注入し、翌日にはきれいな水がキラキラ輝くプールになりました。

「読み聞かせ(あじさい・お話くすくす)」～ボランティアに感謝！ 毎月第2火曜日



普段は、推進員の米崎先生と図書室支援員の丸小野先生、そして地域の有志の方々4名に来ていただき、各学年に分かれて実施しています。また年に2回(7月と11月)は、読み聞かせ団体の「おはなしくすくす」にも来ていただいています。7月11日(火)は、「おはなしくすくす」の皆様、ブラックライトシアターという暗闇で光る教材を使って、七夕の話をしていただき、児童も興味津々で読み聞かせを楽しんでいました。

3・4年生生活 大豆の種まき



学級園と農園に、大豆の種まきをしました。講師として保護者をお招きし、推進員の米崎先生と一緒にご指導いただきました。この大豆の栽培、収穫から食品加工(味噌)までを体験していきます。

低学年「町たんけん」で学んだ神楽 久しぶりの復活！



小島地区と川島地区の神楽について地域の方に教えていただく学習をしています。小島地区では、特別に神楽で使う鬼のお面を見せてもらったり、神楽の衣装を着せてもらったりしました。また、川島地区では、お宮や天満宮、川島小学校跡などを見学しました。今年度は、小島地区と川島地区で「こども神楽」が奉納されました。数年ぶりの復活で、地域の方も喜んでおられました。

※先生方への回覧と地域学校協働活動推進員さんへの手渡しをお願いします。



人を育て 地域を創る

発行：玉名市教育委員会 コミュニティ推進課

玉名市地域学校協働本部
事業だより第80号
令和5年12月4日

毎日、寒い日が続いていますが、皆様の体調はいかがでしょう。早いもので、令和5年も残すところあと1ヶ月となりました。各学校では、5類に移行したといえども、まだまだ対策が必要な新型コロナウイルスやインフルエンザが流行する中、地域学校協働活動を学校や地域の実態に合わせて進めていただき大変ありがとうございました。

今回は、岱明中学校区(高道小学校、睦合小学校)の様子を紹介します。



高道小学校

全学年「防犯パトロール隊発足式」



高道小学校には、児童の登下校を見守ってくださる「防犯パトロール隊」の皆さんが48名いらっしゃいます。コロナ禍のため、中止していた発足式を6月14日(水)、4年ぶりに行うことができました。式では、全校児童に、お一人お一人から地区名とお名前、児童へのメッセージをいただきました。また、江田PTA会長から代表の方へ委嘱状を渡していただき、児童代表の6年生が感謝の気持ちをお伝えしました。2月には、「感謝の会」を開催する予定です。



3年 総合的な学習の時間「海苔すき体験」

10月5日(木)、3年生が総合的な学習の時間で「海苔すき体験」を行いました。この授業は昨年度から始まり2年目になります。地域のことをもっと知ってほしいとの本校保護者の願いを受け、推進員の寺岡さんのコーディネートのもと実現することができました。

当日は本校区と鍋小校区から7名の講師に来ていただきました。海苔の養殖、販売をしておられる方から、仕事の喜びや苦労についてのお話を聞いた後、実際に海苔を包丁で刻んで干す体験を行いました。最初は潮のにおいや海苔のぬるぬるさに驚いていましたが、体験が始まると友達と協力して積極的に活動することができていました。このような体験を通して、さらに地域を愛する心を育んでいきたいと思います。



全学年(行事他)「いもほり」

11月9日(木)、全校児童で芋掘りを行いました。昨年度から、地域の書道家でもある徳村さん(本校学校運営協議会会長)の畑を借りて行っています。この活動では、推進員の寺岡さんのコーディネートのもと、本校の歴代PTA会長の会(通称「芋部会」)の方々に何から何までお世話になりました。

当日は、次から次に出てくる芋に、子ども達は歓喜の声をあげていました。中には子どもの顔の大きさ以上の芋もありました。掘った芋は袋いっぱい持ち帰ることができました。それぞれの学年からは、感謝の手紙を芋部会の皆さんに届けました。



裏面あり



ホタル保全隊の植田さん、前田さんを講師にホタルの一生について学びました。同時にホタルを守り育てる過程についてのご苦労もお話頂きました。ホタルの出前授業を受けて子供達がそれぞれグループに分かれ、ホタルについて自分達で調べた事をまとめてプレゼン発表をしました。ご招待した地域の方からは、「ホタルの学びをずっと大切にされてきた睦合小の皆さん、これからも大切に守り続けて下さい」とのお言葉を頂きました。

2年 生活科「梅干しづくり」



学校の梅の木から梅を収穫して梅干しを作りました。皆で梅をちぎり、天水より小田さんに来て頂き梅干し作りを教えて頂きました。「出来上がった梅干しをおばあちゃんに届けたい。」との声もありました。先生は、「ご家庭で梅干しを作る所は少なくなっているの、日本の伝統食への興味がわいたと思います。」と話されていました。

1・2年生活科「サツマイモの植え付けと収穫」



6月地域のボランティアの方々や園芸ボランティアの方々にお世話になり畑の整地から芋の植付を行いました。秋にはさつま芋の収穫を行い大きな芋に歓声が上がっていました。収穫したお芋を家庭に持ち帰り、てんぷらやスイートポテトにして食べた子供たちもいました。



茶木谷さんを講師にお招きして「防災」について学びました。子供からは、「自然を甘く見ないで地域の人と交流することで絆を深め、命を救える事を学びました。」という感想がありました。(総合的な学習の時間)

◇4年「防災の出前授業」

◇6年「平和学習」



戸寄さんを講師にお招きして大浜飛行場と玉名の戦争について平和学習を行いました。子供からは、「玉名でも戦争があったことを知り自分達にも戦争は近くにあると感じた。」という感想がありました。(総合的な学習の時間)

全校行事「日嶽遠足・ホタルハウス見学」



日嶽遠足(ホタルハウス見学)全校児童でホタルの生息地、開田地域に遠足に行きました。ホタルに適した美しい環境を実感できるものとなりました。
町づくり委員会の方々が、日嶽を子ども達の遠足のために整備して下さいています。子ども達からお礼の言葉を伝えました。

※先生方への回覧と地域学校協働活動推進員さんへの手渡しをお願いします。



人を育て 地域を創る

発行：玉名市教育委員会 コミュニティ推進課

玉名市地域学校協働本部
事業だより第81号
令和5年12月15日

令和5年も残すところあと2週間となりました。各学校では、学習のまとめが行われているところだと思います。大変お疲れ様です。各学校の担当者及び推進員の皆様には、課題解決に向けて、地域学校協働活動を推進していただき大変ありがとうございました。

今回は、岱明中学校区(岱明中学校、銅小学校、大野小学校)の様子を紹介します。

岱明中学校

交通教室



玉名市交通指導員であり、熊本日日新聞社の「緑のリボン賞」を受賞された岡部建史さんを講師としてお迎えして、交通教室を行いました。ハインリッヒの法則や「大切なことは決められたルールを守ること」の言葉は、多くの生徒の印象に残りました。

1年 「生き方講話」



岱明町在住の書道家である徳村剛山さんに、「夢」という演題で講話をしていただきました。生徒は、徳村さんの子ども時代の話に真剣に耳を傾けていました。生徒は、「徳村さんの話を聞いて、自分も夢を実現させるために何事にもあきらめずに頑張ろうと思いました。」と感想を書いていました。

「花植え」



6月と10月の2回、ボランティア委員と学校運営協議会委員長や民生委員さんが協力して、ロータリーの花植えをしました。民生委員さんから、花の向きや植え方等のコツを聞いて、とても綺麗に植えることができました。自主的に参加した生徒もいました。

「読み聞かせ」



月2回の割合で、地域のボランティアの方に読み聞かせをしていただいています。読み聞かせの時は、生徒は静かに聞き入っています。情景をイメージしやすいように、道具を使用された方もおられました。図書委員長も読んでいます。朝の読み聞かせで、生徒達はとても心豊かになっていっています。

「生け花」



週に1回、地域のボランティアの方に職員玄関に花を生けていただいています。季節を感じさせる花を生けていただいている、通る人や見る人の心が和らいでいます。生徒も「綺麗ですね」と言って、生け花を見ています。



裏面あり

鍋小学校

クリーン登校 6月13日 保護者・地域の皆さん



鍋小学校では、年3回地域の方と一緒に通学路のゴミを拾いながら通学するクリーン登校をしています。今年は、美化委員長がチラシをつくって地域の方に配布していただいたことで、多くの方にご協力いただくことができました。今後も地域の役に立てることを考えていきます。

「海苔すき体験」6月21日 講師：岱明漁協の皆さん



5年生は岱明漁協の皆さんから海苔づくりについて教えていただきました。海の中で海苔がどのように育つのか学習した後、実際に細かく切られた海苔をすいて天日干しにしました。海苔すきのおもしろさや苦労を感じることができました。

花の苗植え 6月22日 参加者：保護者・地域の皆さん



昨年に引き続き、花づくりボランティアの地域の方達と全児童で学級園等の花の苗植えを行いました。今年は駐車場の記念碑周りに新しく花壇をつくるため、地域の方達にいろいろな作業をお手伝いいただきました。皆さんの協力のおかげで、さらにきれいな学校になりました。

マジック釣り 9月13日 講師：岱明漁協の皆さん



3年生は校区にある松原海岸でマジック釣りをしました。砂浜にできた小さな穴に筆を入れて釣るのですが、上手く釣り上げることは難しく、逃げられてしまうこともたくさんありました。名人の方々が上手に釣られる姿を見てみんな驚きました。

平和学習会 10月4日 講師：地域の戦争体験者の皆さん



6年生は鍋地区で戦争を経験された5人の方から当時の話を聞かせていただきました。操縦する顔が見えるほど近づいてくる戦闘機から、小銃で攻撃をされた体験のお話などを聞いて、この鍋地区でも戦争があったことや戦争のおそろしさを実感しました。

地引き網体験 10月22日 講師：保存会の皆さん



約20年ぶりに地引き網体験を復活しました。地引き網保存会の会長さんから、地引き網の仕方や歴史などについてお話をお聞きした後、参加できなかった6年生を除く全児童と保護者で網を引きました。網の重さを感じながら、多くの魚を引き揚げました。

大野小学校 大蘇鉄の歴史について学ぶ【3年総合】

3年生が、総合的な学習の時間「わたしたちの玉名市はどんなまち？」の中で、大野校区に残る「大蘇鉄」について学びました。地域学校協働活動推進員の松岡さんのコーディネートのもと、蘇鉄さんのお宅を訪問し、大蘇鉄の歴史について学びました。持っている幸せになれるという種を一人に一つずついただきました。子供達は大野校区に残るすばらしいお話に感動するとともに、頂いた種を大事そうに持ち帰りました。



ひと針に心をこめて【5年家庭】



5年生が、家庭科の時間に裁縫の学習を行いました。学校応援団の方にサポートしていただいたことで、「玉結び」「玉どめ」「なみ縫い」「返し縫い」がとても上手になりました。

水泳指導【1～6年体育】



水泳指導のサポートに元PTA会長の上田さん、三澤さんにおいでいただきました。水泳の技術を教えて頂くと共に、消防士としての立場から、夏休みなどに川や海で遊びに行ったとき気を付けることや、体を浮かせることや溺れた人を発見したときの対応等、水難事故防止についても教えて頂きました。

大野下雨ごい奴おどり【4年総合】



4年生が、総合的な学習の時間「わたしたちの玉名市は、昔があって今がある」の中で、大野校区に残る「雨乞い奴踊り」について学びました。地域学校協働活動推進員の松岡さんのコーディネートのもと、ゲストティーチャーの大野下奴踊り保存会の洲崎さんからは、奴踊りの歴史について、また、川本さんからは、実際に奴踊りの振り付けを教してもらいました。200～300年くらい続いている歴史ある踊りに子供たちも感動していました。

わら束ね【5・6年総合】



5・6年生が、地域の行事「どんどこや」に向けて、わら束ねを行いました。地域の方に教えて頂きながら、2人組になってわらを集め、ひもで束ねていきました。年明け、1月7日に行われるどんどこやに、いつもお世話になっている地域の方々がたくさんおいで頂けるよう、心をこめて束ねていきました。

※先生方への回覧と地域学校協働活動推進員さんへの手渡しをお願いします。



人を育て 地域を創る

発行：玉名市教育委員会 コミュニティ推進課

玉名市地域学校協働本部
事業だより第82号
令和6年1月5日

新年あけましておめでとうございます。令和6年が始まりました。子供たちは新しい目標を定め、大きな夢や希望を膨らませているのではないのでしょうか。私たちは、地域学校協働活動で、それを支援できればと思っています。今年もどうぞよろしくお願いします。

今回は、天水中学校区(天水中学校、小天小学校、玉水小学校)の様子を紹介します。

天水中学校



1～3年生総合的な学習の時間「職場体験学習」

新型コロナウイルスや季節・気候の影響等で事業所の受け入れが厳しい中ではあったが、推進員に多大なご協力をいただいて9月に2日間の職場体験学習を行うことができた。

生徒からは、「誰かのために汗水流して頑張るということはとてもかっこいいと思いました。」「人と話したり、相談したりすることの大切さ、笑顔でお客さんに接する大切さを学んだ。」といった感想が見られた。

事業所からは、「生徒さんたちは、2日間一生懸命仕事を頑張ってくれました。」「将来について考える機会となり、1人でも多く天水町で働いてくれればと思います」といった意見があった。

1～3年生総合的な学習の時間「防災講話」

学校運営協議会長の池田さんと推進員の濱崎さんとで、昭和32年に天水町で起こった山津波を題材に防災講話をしていただいた。

生徒からは、「身近な地域でこんな大きな災害が起こったことには驚いた。」「今のようにスマホなど情報をすぐに手にいれる方法もなく、停電で暗い中に避難をしていたのは怖かったと思う。できることをできる限り備えていきたい。」といった感想が見られた。

3年生総合的な学習の時間「面接指導」

学校の職員だけでなく、外部の方々の目を見ていただいて、アドバイス等をしていただくことは受験生にとって、とても参考になると考え、推進員に依頼し、学校運営協議会委員、民生委員に連絡を取っていただき、面接の練習を計画した。インフルエンザ罹患者の急増により、急遽中止となったが、地域との連携の機会を増やすことができた。

裏面あり

小天小学校



【年間活動】登校見守り：毎週(月、木)

推進員の水本さんから、児童へのあいさつや教育活動での活躍をほめていただくコメントをいつももらっています。児童は、先生の言葉に元気をもらっています。

今年は、玉名市の環境美化の取組を実践するため、初めてクリーン登校に挑戦しました。登校班ごとに通学路のごみを集めました。児童からは、「町がきれいになってうれしい」「これからも故郷を美しくする活動に取り組みたい」と感想が出されました。



【年間活動】1・2年生外国語読み聞かせの実践

推進員の水本さんが、外国語の読み聞かせで、七夕や干支の英語版を1・2年生の児童に聞かせてもらったり、ゲームを教えてもらったり、外国に興味を持つお話を聞いて児童はいつも学んでいます。

2年生の児童は、ハロウィンに読み聞かせをしていただき、水本さんから頂いたカボチャでお化けカボチャづくりに挑戦しました。

担任は、「外国語に自然に親しむ機会を作っていただきありがたい。」と話しています。



【4年生 総合的な学習の時間】火の神祭り

総合的な学習の時間に小天天子宮で行われる火の神祭りのいわれについて、火の神祭り保存会の方から教えていただきました。保存会では昨年から、火の神祭りについて、わかりやすくパンフレットにまとめておられるので、4年生児童にも、学びやすかったです。昨年末には、4年生以上の全児童にこのパンフレットをいただきました。

郷土の祭りについて、児童は「しっかり残していきたい」「大切にしていきたい」という感想を持ちました。いずれこの児童がしっかり担っていく祭りになります。学びを忘れず育ててほしいものです。



玉水小学校



朝の登校時のクリーン作戦

今年度初めて、登校時のクリーン作戦を実施しました。民生委員さんなど校区の登校見守りの方に見守られながら、それぞれの登校班ごとに、協力しながらゴミを拾っていました。

児童は、改めて地域にゴミが落ちていることを実感し、玉水校区をこれからもきれいにしていきたいという気持ちになりました。

3・4年生:総合的な学習の時間「みかん園見学」



みかん等の柑橘類を栽培しておられるみかん農家の方の畑に出向き、お仕事の様子を学習してきました。みかんの品種や作る時の工夫、農家の一日などを話していただきました。

児童は、みかん農家の方の話を熱心に聞いていました。みかん農家の方のみかん栽培に対する思いや栽培の大変さを知ることができました。

オレンジてんてんお話会



推進員のコーディネートのもと、お話会を開催しました。児童は、読み聞かせ、パネルシアターなどを興味深く聞いていました。

お話会のメンバーの方も2度目の開催に段取りよく準備してくださいました。しっかり聞いてくれたと、喜んでおられました。

玉水リースのプレゼント



お世話になった地域の方に高学年を中心にボランティアを募り、昼休みを活用し、クリスマスのリースを作成しました。地域学校協働活動でお世話になった方や、民生委員の方々、登校の見守りをしてくださる方などにプレゼントしました。

地域の方は、子供たち手造りのプレゼントとお手紙を受け取って、とても喜んでくださいました。子供たちも喜んで受け取ってくださる姿を見て、嬉しそうでした。

◇下の写真は、昼休みに校長室に集まり、プレゼントのリース制作をしている有志の子供たちです。材料は、学校内の植物を使用しました。



※先生方への回覧と地域学校協働活動推進員さんへの手渡しをお願いします。



人を育て 地域を創る

発行：玉名市教育委員会 コミュニティ推進課

玉名市地域学校協働本部
事業だより第83号
令和6年1月31日

第81号で、玉名市21校の紹介が終わりましたので、今回は、玉名市内では、睦合小と玉水小の2校で行われている「放課後子供教室」を紹介します。

睦合小学校

◇講師の方は、低学年のためにきめ細やかな準備で臨まれていました。!



「ストーンアート」



「茶道」



「貝殻工作」



「マジック」



「もちつき」



「フラワーアレンジメント」



裏面あり

玉水小学校

「放課後子供教室」4年ぶりの復活！

玉水小学校の放課後子供教室は、新型コロナウイルス感染症により3年間中断していましたが、今年度9月より再開となりました。最初は、4人でのスタートでしたが、途中から参加者が増え、現在12人で活動が行われています。コーディネーターの笠さんをはじめ、講師や安全管理員の皆さんのおかげで、子供たちは、貴重な体験ができています。



【開講式】



【フラワーアレンジメント】



【おやつ作り】



【書に親しもう】



【理科遊び】 ベンハムのコマ



【グランドゴルフ】



【アレンジフラワー】



【パステルアート】



【工作遊び】



【レクリエーション遊び】



【雅楽】

※先生方への回覧と地域学校協働活動推進員さんへの手渡しをお願いします。



人を育て 地域を創る

文責：玉名市教育委員会

玉名市地域学校協働本部
事業だより第84号
令和6年3月26日

令和5年度があと数日で終わります。今年度は、新型コロナウイルス感染症への対応の変更に伴い、各学校でも地域学校協働活動が活発に取り組まれたように感じています。ただ、新型コロナウイルス感染症への対応がゼロになったわけではなく、インフルエンザの流行もあり、推進するためには、多くの苦労があったのではないかと思います。担当者及び推進員の皆様大変ありがとうございました。



84号では、地域学校協働本部運営委員会議及び地域学校協働本部合同（推進員・地域連携担当教員）会議の様子と令和5年度の活動報告書内の感想をお知らせして、今年度の最終号としたいと思います。一年間大変お世話になりました。

令和5年度が終わりました!!

お世話になりました!!

3月26日(火) 令和5年度 第2回地域学校協働活動本部運営委員会議

【教育長挨拶より抜粋】

現代社会におきましては、社会情勢が目まぐるしく変化し、子供たちを取り巻く環境も大きく変化しております。そのため、地域の宝である子供たちの成長を支えるためには、地域住民や各種団体等が参画し、地域全体で子供たちの成長を支える仕組みづくりが必要だと考えております。〈中略〉学校には、地域の力が必要です。地域資源であるひと・もの・ことを地域学校協働活動にどうつなげていくか、どう学習に取り入れていくか考えなくてははいけません。・・・



3月26日(火)は、令和5年度「地域学校協働活動本部運営委員会議」を行いました。今年度の本部の取組と各学校での地域学校協働活動の様子をお伝えして、運営委員の皆様にご意見を伺いました。

提言頂いた意見の詳細については、次年度の最初の事業だよりで、各学校から出されている次年度への課題とともに玉名市の方向性としてお示ししたいと考えております。



【事業説明】



【意見交換】



【意見交換】

裏面あり

2月第2回地域学校協働本部合同(推進員・地域連携担当教員)会議の様子

会では、各学校の活動の成果を確認した後、班毎に成果の共有と課題解決のための方策を協議していただきました。特に、担任・担当者と推進員・ボランティアとの打合せの重要性が話題になっていました。



全体への成果説明の様子



各班ごとの協議の様子



各班ごとの発表の様子

令和5年度地域学校協働活動実施報告書に掲載されていた感想(一部抜粋)

◇ 児童・生徒の声

○地域の方から、玉名の戦時中の様子について話を聞いた。玉名でも多くの方がなくなったことや小学生も畑仕事をしていたことなど、教科書では学べないことを初めて知り、戦争は、二度としてはならないと思った。

○私は、母が保育士なので保育士になりたいと思っています。この職場実習で意外な一面を知ることができ、大変だけれど子供のために一生懸命頑張ろうとする気持ちが分かりました。この体験で将来の夢を固めることができました。

◇ 地域の皆様の声

○地域で見たことのある子どもの顔ではあったが、学校でのボランティア活動を通して子供の名前や学校での様子を初めて知り、子供との距離がずいぶんと縮まった。今後も地域での子供の見守りはもちろんのこと、可能な限り学校へのボランティア活動にも参加し、地域全体での子供の成長を支えていくことへとつなげていきたい。

○毎日の交通安全の見守りで、いつも子供たちからの笑顔を糧に、一日の仕事を頑張っています。小学校児童及び中学校生徒様が植えられたアジサイがきれいに咲いていましたので写真を送らせていただきます。

◇ 学校・職員の声

○「ボランティアの協力を得たいが、このような支援内容では見つからないだろうな」と半ばあきらめながら地域学校協働活動推進員に相談すると、すぐにボランティアの方を見つけていただいた。地域には多くの様々な方がいるのだと改めて気づかされ、児童の学びの充実へとつながった。

○地域人材の積極的な活用により、児童だけでなく教職員も改めて地域のことを学び、児童にとってより良い学びとなるよう指導内容の見直しを図ることができた。